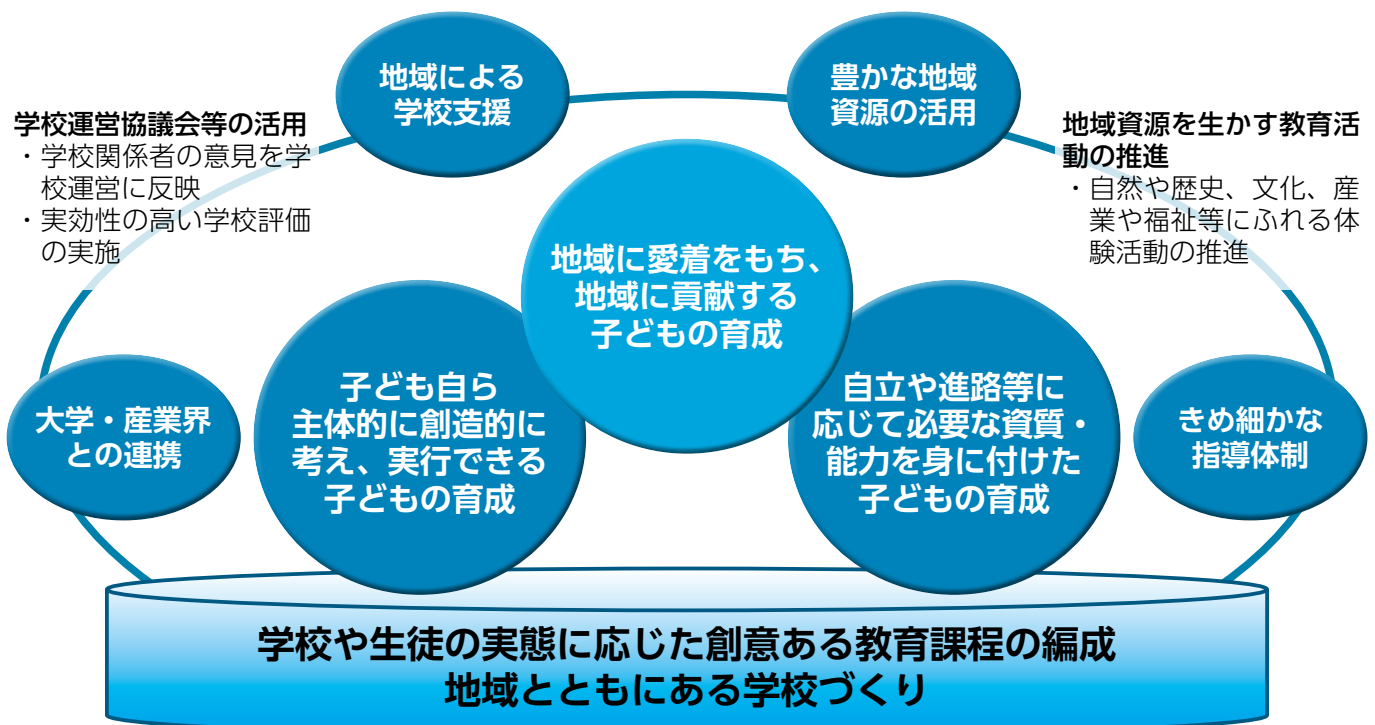


魅力と活力ある学校をつくる

この仲間と、この地域にある、
この学校で学べてよかったと思える学校へ

主体的・創造的に生きていくための力を身に付け、他者と共同できる社会性を育てていくために、子どもの個々の状況や学校の実態に応じて、教育課程を工夫するなど、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

一人ひとりが生き生きと自己実現ができる特色ある学校づくり



小・中学校の事例

○豊かな地域資源や地域人材を活用した特色ある教育活動



地域の特産物「日野菜」の学習



地域の川「安曇川」でのリバー学習



地域の伝統芸能「富田人形」の学習

高等学校の事例

生徒が自らの興味・関心、進路希望等に応じた学習ができる学校



大学と連携した学習

学校行事や部活動などの取組を活発に行うことができる学校



文化祭でのクラス発表

生徒や教師との幅広い出会い、集団活動を通して互いに刺激し合うことができる学校



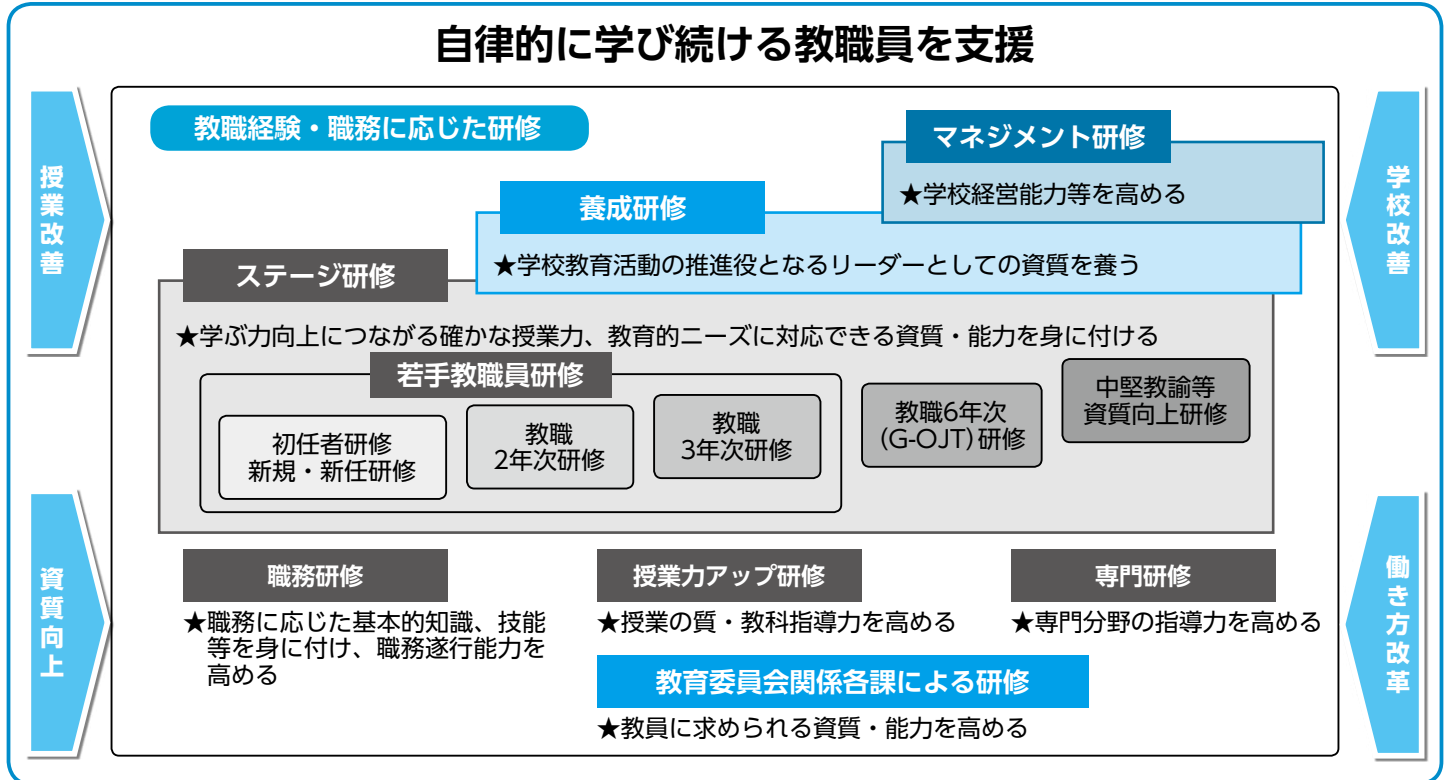
総合学科での成果発表会

教職員の教育力を高める

子どもの力を引き出し伸ばす教職員の実践力の向上

求められる資質・能力の向上をめざし、時代の変化やキャリアステージに応じた高い課題意識をもって自律的に学び続ける教職員を支援するとともに、学校教育への信頼が失われることのないよう、教職員の人権意識の向上とコンプライアンスの徹底を図ります。

自律的に学び続ける教職員を支援



滋賀県教員のキャリアステージにおける人材育成指標

教員が自らの資質・能力を把握し、キャリアアップに向けた目標設定を行うための具体的な指標

教諭

養護教諭

副校長・教頭

校長

滋賀県公立学校教員人材育成基本方針

- 組織的で体系的な取組による授業力の向上
- リーダーシップの発揮による組織力の強化
- 人事配置や人事評価制度の活用等による組織力の向上
- 教員をめざす人材の養成と採用の工夫・改善

OJTを取り入れた校内研修

- ・若手教員が育つ学校の仕組みづくり

大学との連携

- ・高度な専門性の習得
- ・スクールリーダーの育成

人事評価の活用

- ・面談による目標設定と意欲の向上
- ・目標の共通理解による組織力の向上

職責を遂行するための研究と修養

- ・新しい時代の教育に対する自己研鑽

コンプライアンスの徹底

- ・人権意識の向上と不祥事の根絶

安全・安心な学校・地域をつくる

1 的確な見立てと支援の充実を図る生徒指導の実践

いじめや不登校などの諸課題に対し、子ども一人ひとりへのきめ細かな対応ができるよう、校内の相談体制の強化に努めるとともに、専門家・関係機関、家庭・地域との連携を進め、「チーム学校」による組織的対応の充実を図ります。

組織的対応の充実

☆学校における教育相談体制の充実

☆ケース会議の実施

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用
アセスメント（見立て）とプランニング（手立て）の実践



いじめの問題への取組

①子ども自身が主人公となる学校づくり

- 学級づくり、話し合い活動の充実
- 児童会・生徒会による「絆」をつむぐ学級・学校づくりの推進
- 校内、中学校区内、市町内で子ども自身がいじめの問題を考え議論する取組



「滋賀県いじめ問題サミット」

②教員の資質向上・校内組織体制の充実

- いじめ防止対策推進法に則った対応
- 事例検討など校内研修会の充実
- スクールカウンセラーと協働した「心理授業」の実践
- いじめアンケートの工夫
- いじめ対策委員会による学校全体でのいじめ対策
- 保護者や児童生徒の意見を取り入れた学校いじめ防止基本方針の点検・見直し

③関係機関等のサポート体制の充実

- スマートフォン等の使い方についての家庭でのルール作りや情報モラル教育の推進
- いじめで悩む子ども相談電話・24時間子供SOSダイヤルの周知
- 生徒指導緊急サポート事業（専門家派遣）の活用

不登校への総合的な対策

①不登校の未然防止

- わかる授業、学級集団づくり、児童会・生徒会活動の充実
- 家庭と連携した基本的な生活習慣づくり
- 特別な教育的支援等を必要とする児童生徒への適切な対応



「縦割り活動による話し合い」

②不登校の早期発見・早期対応

- 健康観察の充実と情報共有の工夫
- 欠席日数に応じた対応（電話連絡、家庭訪問等）の共通理解・共通実践
- ケース会議の実施によるアセスメントとプランニングの実践

③社会的自立および登校に向けた支援

- アセスメントとプランニングの見直し
- 適応指導教室・民間施設等との連携強化
- 「児童生徒理解・教育支援シート」等による引継ぎ・連携

全ての子どもの多様性が認められ、豊かな人間関係を育む取組

外国人児童生徒への支援

①特別の教育課程の実施

- 指導計画の作成、日本語指導の体制の整備
- 外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLAによる日本語能力の把握

②母語による教育支援

- 母語が理解できる人材の活用
- 子どもたちの間に豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション支援

③支援体制の整備

- 日本語指導のための教員の加配や非常勤講師の派遣

様々な家庭状況を踏まえた児童生徒への支援

①校内の組織的な対応

- 児童虐待の防止等に関する法律の理解と対応
- スクールソーシャルワークの視点による支援

②関連機関との連携

- 要保護児童対策地域協議会等ネットワークによる支援の充実
- 安全・安心・自信をもてる環境と学習の保障

学校・家庭・地域・関係機関との緊密な連携により社会全体で子どもを見守る体制

安全・安心な学校・地域をつくる

2 子どもが主体的に安全・安心をつくる

子ども自身が危険を予測し、回避することができる力を身に付け、地域の一員として防災・防犯・交通安全活動に関われるよう、関係機関と連携した実践的な取組を推進します。

学校安全体制の整備の推進

安全に関する組織の充実

- **学校安全指導者講習会の開催**
 - ・ 学校事故対応に関する講習会
 - ・ 防犯・交通安全教室指導者講習会
 - ・ 学校防災教育コーディネーター講習会
- **「学校防災教育コーディネーター・安全主任等情報交換会」の開催**
 - ・ 市町域での各幼、小、中、県立学校の安全教育に関する情報交換と、関係機関との連携
- **「学校防災委員会」による学校防災の推進**
 - ・ 避難訓練の計画、検証
 - ・ 学校防災マニュアルの見直し
 - ・ 校内研修の計画
 - ・ 家庭、地域、関係機関との連携の推進

学校・通学路の安全体制の整備

- ・ 学校施設や設備に対する、定期・日常・臨時の安全点検の実施
- ・ スクールガード等による登下校の見守り体制の推進
- ・ おうみ通学路交通アドバイザーや教職員による通学路点検の実施
- ・ 「訓練→評価→改善→見直し」のサイクルによるマニュアルの改善や教職員訓練の充実



子どもが自ら命を守る力を身に付ける教育の推進

実践的な避難訓練の実施

- ・ 学校防災教育アドバイザー(消防署等)や地域と連携した訓練の実施
- ・ 緊急地震速報のチャイム音の活用や保護者への引渡し等、多様な想定での実践的な訓練の実施



安全に関する知識を深める授業

- ・ 教科横断的な防災教育の推進
- ・ 地域安全マップの作成、「地域で育む防災・防犯しがっこガイド」や「学校防災の手引き」等を活用した防犯教育、防災教育の推進
- ・ リーフレット「滋賀県の学校・園における交通安全教育」を活用した、自転車運転をはじめとする交通安全教育の推進



滋賀県 学校安全

教職員の危機管理意識の高揚

- **学校の危機管理トップセミナー**
 - ・ 校園長を対象とした危機管理研修を開催し、防災や学校事故等に関する危機管理意識を高める。
- **校内研修の充実**
 - ・ 教職員が事故や災害に対する知識を得て、迅速かつ適切に対応できる力を身に付けるとともに、幼児・児童・生徒に対して効果的な指導を行えるようにする。
(AEDを含む心肺蘇生法等の応急処置、事故事例の検証、警察や消防署等関係機関への通報訓練、文部科学省DVDの活用等)



社会全体で子どもを育てる環境をつくる

「開かれた学校」から、「地域とともにある学校」へ

学校も地域の一員であるという認識のもと、地域や保護者と積極的に連携・協働し、パートナーとしてともに子どもを育み、社会総がかりの教育体制を構築します。

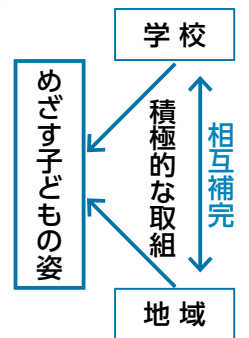
学校・園

地域とともにある学校（園）づくりの推進

- 学校(教員)と地域(地域人材)が「熟議」(熟慮と議論)を重ねながら、目標やビジョンを共有し、積極的に連携・協働する体制づくりを推進
(コミュニティ・スクール〔学校運営協議会を置く学校〕等の仕組みを活用)



- 「社会に開かれた教育課程」の実現をめざした地域資源を生かす教育活動
 - ・地域の自然や歴史・文化、産業や福祉等にふれる体験的な学習の推進
 - ・学校運営に地域の人材やボランティア組織の参画を促す
 - ・専門的な知識や技能をもつ地域人材等の積極的な活用(「学校支援メニュー」)
- パートナーとして相互に連携・協働する関係づくり
 - ・双方向性や対等性を意識した様々な世代や多様な団体等との交流を通じて、相互理解を深める



●学校からの地域貢献

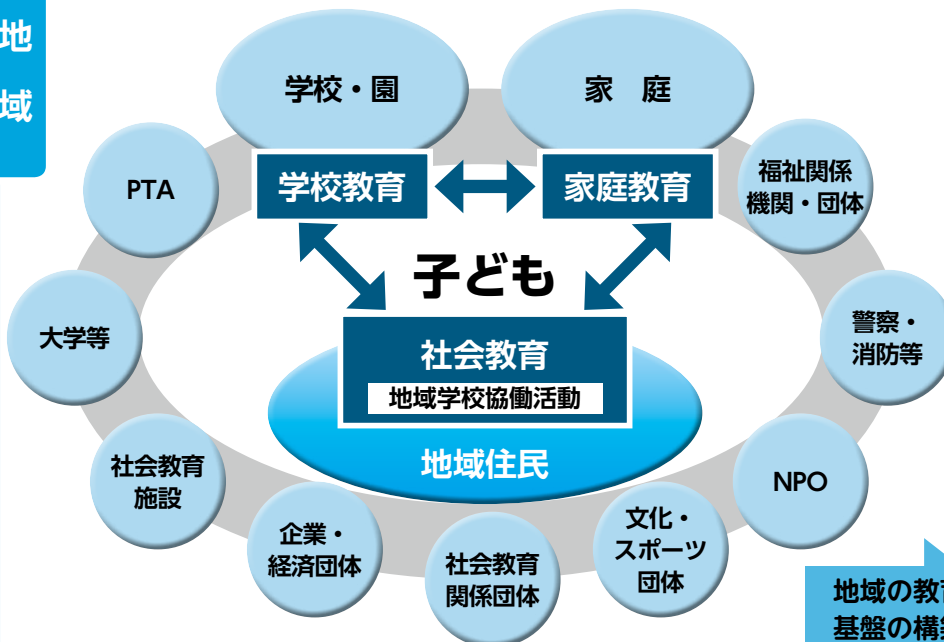
- ・地域行事等への子どもの参加・参画
- ・学校や地域において、子どもと大人がつながる機会の創出
- ・地域の将来を担う人材を地域とともに育成

●地域や保護者等による学校支援

- ・多様な年代による組織的なボランティア活動
- ・事前の打合せを大切にし、ねらいを共有するなど、子どもの主体性を生かした支援
- ・地域住民にとっての自己実現の場

社会全体で子どもの育ちを支える仕組み

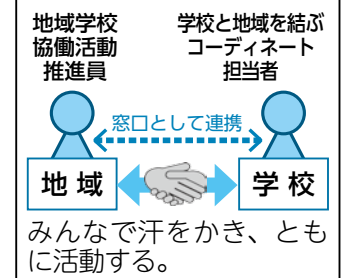
地域



地域学校協働活動

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動

地域の力を学校に生かすイメージ



地域の教育基盤の構築

10年後・20年後の地域を担う人を育てる